

# 委員会活動のふり返り

## 総務民生常任委員会

### 活動内容

#### 〈視察・研修関係〉

- 当別町視察
- ボランティアを活用した共生型のまちづくり
- 千歳市視察
- 防災センターを拠点とした防災のまちづくり
- 札幌社会福祉フォーラム
- 福祉活動による全国的先進事例

#### 〈情報交換〉

- 民生委員児童委員協議会の各部会との情報交換
- まちづくりワークショップの開催

### ふり返りと展望

平成29年度以降の常任委員会では、これまでの2年間のテーマを継続し、調査、報告を求めています。また、昨年度実施したワークショップや他団体との意見交換も実施し、情報を収集し委員会での議論を活発に進めていきたい。

## 経済文教常任委員会

### 活動内容

#### 〈視察・研修関係〉

- 安平町教育委員会視察
- コミュニティ・スクールの取組み
- 岩見沢農業試験場視察
- 水稻新品種の研究

- 町内農地及び鳥獣被害防止の取組み視察

### ふり返りと展望

所管課への調査に対する報告を受け、課題や現況の把握を行いました。その課題について、委員会として継続的に取り組むとともに、基幹産業を支える農業後継者に関する事項についても注視して取り組んでいきたい。

## 広報広聴常任委員会

### 活動内容

#### 〈広報活動〉

- 議会だよりの発行
- 誌面を一新し、読みやすい広報づくりに努めました。
- 議会フェイスブックの開設
- 議会の活動を素早く周知できるようにしました。
- 〈広聴活動〉
- 議会報告会の開催
- 各行政区の協力を得て、全ての行政区で報告と意見交換を実施しました。

### ふり返りと展望

議会の活動を伝える「広報」と、住民の声に耳を傾ける「広聴」の活動は、我々議員の職務であるという観点に立ち、常任委員会として新たなスタートを切り、議会だよりのリニューアル等に取り組みました。今後は、より良い広報広聴活動の手法について、議員同士で協議して工夫を図っていききたい。

# まちづくりに活かす 議員研修レポート

〈研修テーマ〉  
「適正な議員報酬・議員定数を考える」

- 研修日程 平成29年2月20日から22日まで
- 研修会場 福岡県福岡市
- 参加議員 2人  
(笹木正文・安中経人)
- 研修経費 234,080円



### 研修報告

議員として自らの立場を分析していくテーマの研修に参加してきました。

これまでの統計から議員報酬や議員定数の移り変わりについて学び、これからどうあるべきなのかを考えさせられる内容でした。平成の大合併を機に、大きなリストラとも言えるほどの減少を経験した地方自治体の職員と地方議会の議員は、定員・定数や給与・報酬に対して特別な思いを持っています。それに対し、住民意識調査の結果では、「議員の定数・報酬について詳しく知らない」という回答が大半を占める中で、「議員が多い、報酬が高い」という回答割合も高い傾向だということに大変

ショックを受けました。

このことは我々議員側からの情報発信の不足も一因にあると反省しなければならぬことを痛感させられるものでもありません。

今後は、議員定数や報酬について自らを査定して方向性を見定め、その判断を第三者機関にゆだねるなどし、現状が適当か見直しを要するかを決めていく作業に入る必要性を感じました。

なお、見直しを検討する際に留意すべき3つの視点について、講師の持論を紹介します。

- 1 公に奉じることを前提として、安易な経費節減に流れることへの是非
- 2 自治体の長、幹部職員等との比較に基づいた妥当性の分析
- 3 従来の大選挙区ではなく、中小選挙区制の導入等の大胆な検討

### 検討

おわりに、議員は住民から選出される以上、この課題は議員だけが考えるのではなく、その地域に住んでいる住民にも真剣に向き合っていたらダメと前に進めません。つまり議員側から話題提供の域を超え、今後地域住民の皆さんと一緒に考え、議論していきたいという思いに至った研修でありました。